

西日本鉄道(株)向け 定期券発行機

西日本鉄道株式会社に小型定期券発行機を16発行箇所、合計20セットを納入した。

本機は、操作表示ユニット、定期券発行ユニット、制御部、電源ユニット、ジャーナルプリンタ、客用表示ユニット等により構成され、発売窓口を設置し発行業務及びその他の業務を行う。

操作にあたっては、タッチパネル付カラーLCDと各種ファンクションボタン及びテンキーで構成された操作表示ユニットに操作情報を集約し、業務の集中化・効率化を図っている。更に旧定期券の区間情報を自動読み取りも可能で、係員の入力操作負担の低減を図っている。

以下に主な特長を示す。

- (1) 樹脂系のPET券及びインクフィルムを使用。
- (2) PET券を最大250枚収納可能。
- (3) 消耗品の交換が容易。
- (4) NRZ-1及びFMでエンコードを書込可能。
- (5) 購入情報を書込可能。
- (6) 旧券読取が可能。
- (7) 各機能がそれぞれユニット化されているので、設置場所に合わせてレイアウトすることも可能。



小型定期券発行機

エンコード機能付車内補充券発行機 DTC370

車内で乗車券、乗り越し券の発行を目的とする車内補充券発行機（以下車補）は、1985年にインパクトプリンタ方式である「DTC320」を開発してから、今回の「DTC370」で4世代目にあたる。感熱ロール紙にサーマル印字する方式である「DTC350」及びエドモンソン券サイズの磁気エンコード券を発行する「DTC360」は現在多数のユーザで使用されているが、「DTC370」は、感熱ロール紙の発券と磁気エンコード

券の発券という両者の機能を併せ持った車補として開発した。車補は、車掌が携帯して車内で操作することを前提としているため、従来の2機種分の機能を持つとしても、重量、大きさについて従来機とほぼ同等であることが必須である。

従来からの使用感を継続するためにスイッチや表示装置等、ユーザインタフェース部分の変更は行わないという条件のもと、「DTC370」は構成ユニットの軽量化と配置及び重量配分の見直しなどを中心に開発した結果、重量は約740g、操作部サイズは「DTC360」と同じ外形寸法に収めることができた。

また、車補が持つ機能は、「DTC350」及び「DTC360」と互換性を保ち、性能については同等以上を達成することができた。

表に「DTC370」車内補充券発行機の概略仕様を、図にその外観を示す。

概略仕様

項目	DTC-370	
対象券種	ロール紙、磁気エンコード券	
外形寸法	185mm x 92(114)mm x 44mm	
重量	740g	
表示部	表示桁数	12文字 x 8行
	表示文字種	漢字、英数字、カナ
操作部	操作キー	45ラパークー
	駅名シート	8 x 16キー
通信部	IrDA v1.0	
磁気エンコード部	適用券紙	高保持力磁気化券
	券紙サイズ	57.5mm x 30mm(エドモンソン券)
	記録方式	FM / NRZ-1
	発券速度	4.5秒
ロール紙印字部	ロール紙サイズ	57.5 x 20
	印字方式	直接感熱(1色)
電源	充電式Liイオン電池	



DTC370車内補充券発行機

AO サイズ LED プロッタ drastem8786

drastem8786は、従来より定評いただいた drastem8780の後継機として、新コントローラを搭載し、高速処理を実現した。以下にその特徴を示す。

1. 新コントローラによる高速描画

最新64 bit RISC を搭載し、リアルタイム OS を採用。データ処理速度を飛躍的に向上させた。

2. 充実したインタフェース

イーサネット ,セントロニクス ,RS232C を標準装備。イーサネットは ,10Base-T/100Base-TX の自動切換えでネットワークに負荷をかけない。

また、複数のコンピュータからの同時アクセスが可能になり、大容量データも高速に受信できる。

マルチプロトコル機能として ,TCPLOT(ソケット) ,FTP ,LPR をサポートし、あらゆる環境下での接続を可能にした。

3. プロッタ Web サーバーの対応

従来からのコンソール機能(状態表示 /パラメータ設定)に加え、Web ブラウザを使用してプロッタの状態をモニターしたり、プロッタの設定を変更することができる。

4. 各種ドキュメント印字対応

標準で提供している Windows ドライバにより ,CAD 図面のほかに Microsoft Word や Excel などの文書、帳票のドキュメントを高速に印字が可能である。

5. Scan To Copy 機能(オプション)

A0モノクロスキャナと組み合わせることで、低コストの大判図面コピー機としても使用できる。ネットワーク・プロッタで接続しながら、スキャナとのセントロニクス I/F 接続によりコピー機としても同時接続ができる。

概略仕様

記録方式	LED による電子写真方式
分解能	400dpi
用紙送り速度	プロット時100mm/s A0サイズ5枚/分
給紙方式	4本ロール自動給紙、手差し機構
データフォーマット	ベクタ:EP8/EP7,HPGLI/II,Calcomp925 ラスタ:HP・RTL, TIFF, CALSG4, TG4



A0 LED プロッタ drastem8786

光造形装置 SOUP 600GS

光造形装置は、三次元 CAD でデザインされた立体モデルから二次元断面形状にスライスしたデータを作成し、そのデータをもとに、紫外線レーザーで硬化する樹脂液面上に紫外線レーザーを照射し、それを等ピッチで積層することにより立体モデルを造形する装置である。

三次元 CAD の普及によって、シート積層法等多様な立体モデル造形法の中でも造形精度に優れていると評価されている光造形装置の需要も増えてきている。

当社が製造している SOUP 600GS も出荷開始以降順調に出荷台数を増やしており、今後も順調な伸びが期待されている。

今回、次の改良を適用した新型機を開発したので紹介する。

1. 制御ユニットを分離

制御ユニットを造形エリアから分離独立させ、制御ユニットにキャスタを装備し、オペレータの好みの位置に配置可能とした。

2. 樹脂液容量の低減

Zテーブル及び液槽の見直しを行うことにより、装置導入当初に必要な樹脂液の容量を低減し、導入時のインシャルコストの低減に寄与している。



SOUP 600GS 光造形装置